

「第3期宮城県食育推進プランの目標値」について

資料 4

目標指標等	ベースライン値 (調査年)	現況値 (調査年)	目標値 (H32年度末)	出典	
1 食育を通じた健康づくり					
朝食を毎日食べる人の割合	20から30歳代	62.6% (H26)	63.5% (H28速報値)	70%以上	県民健康調査
	小学6年生	96.8% (H26)	96.3% (H27)	98%以上	全国学力・学習状況調査
1日当たりの食塩摂取量	成人男性	11.9g (H22)	集計中	9g以下	県民健康・栄養調査
	成人女性	10.4g (H22)		8g以下	県民健康・栄養調査
1日当たりの野菜摂取量(成人)	307.4g (H22)			350g以上	県民健康・栄養調査
主食・主菜・副菜をそろえて食べるようにしている人の割合(成人)	73.1% (H26)	71.5% (H28速報値)	80%	県民健康調査	
ゆっくりよく噛んで食事をする人の割合(成人)★1		49.1% (H28速報値)	55%以上	県民健康調査	
栄養成分表示を参考にしている人の割合(成人)	47.0% (H26)	44.6% (H28速報値)	60%	県民健康調査	
肥満傾向児の出現率	中学1年生(男子)	13.99% (H26)	13.96% (H27)	11%	学校保健統計調査
	中学1年生(女子)	11.47% (H26)	10.70% (H27)	8%	
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合(40～74歳)	29.5% (H25)	29.3% (H26)	26.1%	特定健診保健指導結果	
3歳児のむし歯のない人の割合	74.4% (H25)	75.6% (H26)	80%	3歳児歯科健康診査	
2 「食材王国みやぎ」の理解と継承					
農業体験学習に取り組む小・中学校の割合	67.5% (H25)	71.2% (H27)	100%	農業体験学習の実施状況調査	
学校給食の地場産野菜等の利用品目数の割合	28.0% (H26)	26.8% (H27)	40%	学校給食地場産物活用状況等調査	
主要な都市農山漁村交流拠点施設の利用人口	1,279万人 (H26)	1,298万人 (H27)	1,600万人	アグリビジネス関連施設調査	
農産物直売所推定売上高	88億円 (H26)	103億円 (H27)	95億円	アグリビジネス関連施設調査	
地域の食材を使用した郷土料理を年10回以上提供している学校給食施設の割合	62.8% (H26)	63.4% (H27)	85%	全国学校給食週間実施報告	
3 食の安全安心に配慮した食育					
みやぎ食の安全安心消費者モニター活動(延べ参加)率	81.0% (H26)	74.1% (H27)	85%	みやぎ食の安全安心モニター制度事業	
4 みんなで支えあう食育					
みやぎ食育コーディネーターによる食育推進活動への参加人数	21,548人 (H26)	35,335人 (H27)	26,000人	食育活動の取組状況調査	
学校、事業所等の特定給食施設のうち適正体重の利用者の割合が増えた施設の割合★2		10.7% (H27)	今後設定	健康推進課調べ	

【目標値設定の考え方】

目標指標等	ベースライン値	目標値(案)	目標値設定の考え方
★1 ゆっくりよく噛んで食事をする人の割合(成人)	49.1% (H28速報値)	55%以上	・国の第3次食育推進基本計画の目標値を参考に設定 ・5年間で約5%増加を目標とする。 【参考】国現状値: 49.2%(H27)→目標値: 55%以上
★2 学校、事業所等の特定給食施設のうち適正体重の利用者の割合が増えた施設の割合	10.7% (H27健康推進課調査)	今後設定	・本県独自の新たな指標であり、他に参考値がないことから、2ヶ年分の現状値の動向を踏まえ今後設定する。 ・H27: 前年度(H26)より 5%以上増加 した施設は、総数252施設のうち27施設(10.7%)。

・※増加率を5%以上とした理由: 衛生行政報告例(厚生労働省)では、「肥満とやせの者の割合が5%以上増加した特定給食施設に対する指導件数」の報告を求めていることを踏まえ、「5%以上」で算出した。